

安全データシート

1. 化学品および会社情報

品名：フケビースパ-UダインN

社名：フケビ化学工業株式会社

住所：福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585

担当：品質保証本部 マネジメントシステム部

TEL：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2003年3月31日 改定：2016年12月22日

2. 危険有害性の要約

<GHS分類>

物理化学的危険性：区分外、分類対象外、または分類できない。

健康に対する有害性：

- ・ 急性毒性 - 吸入（気体）：区分4
- ・ 皮膚腐食性/刺激性：区分2
- ・ 眼に対する重篤な損傷/刺激性：区分2A
- ・ 呼吸器感作性：区分1
- ・ 皮膚感作性：区分1
- ・ 生殖毒性：区分1B
- ・ その他の項目については、区分外、分類対象外、または分類できない。

環境に対する有害性：

- ・ 水生環境有害性（急性）：区分3
- ・ 水生環境有害性（長期間）：区分3
- ・ マダコ層への有害性：分類できない。

<ラベル要素>

絵表示：健康有害性 / 感嘆符

注意喚起語：危険

危険有害性情報：

- ・ (H332) 吸入すると有害（気体）。
- ・ (H315) 皮膚刺激。
- ・ (H319) 強い眼刺激。
- ・ (H334) 吸入するとアレルギー、ぜんそく、または呼吸困難を起こすおそれ。
- ・ (H317) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- ・ (H360) 生殖能、または胎児への悪影響のおそれ。
- ・ (H402) 水生生物に有害。
- ・ (H412) 長期継続的影響により水生生物に障害。

注意書き：

[安全対策]

- ・ (P201) 使用前に取り扱い説明書を入手する。
- ・ (P202) すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わない。

- ・ (P261) 粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避ける。
- ・ (P264) 取り扱い後は手をよく洗う。
- ・ (P271) 屋外、または換気の良い場所でのみ使用する。
- ・ (P272) 汚染された作業衣は作業場から出さない。
- ・ (P273) 環境への放出を避ける。
- ・ (P280) 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用する。

[応急措置]

- ・ (P302+P352) 皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗う。
- ・ (P304+P340) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ・ (P305+P351+P338) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
- ・ (P312) 気分が悪いときは医師に連絡する。
- ・ (P321) 特別な処置が必要。『4. 応急処置』を参照。
- ・ (P333+P313) 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察、手当を受ける。
- ・ (P337+P313) 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受ける。
- ・ (P342+P311) 呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡する。
- ・ (P362+P364) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする。

[保管]

- ・ (P403) 換気の良い場所で保管する。
- ・ (P405) 施錠して保管する。

[廃棄]

- ・ (P501) 内容物や容器を廃棄する場合は、法令や条例に従って廃棄する。

3. 組成および成分情報

単一製品、混合物の区別：混合物

化学名：一液形ホリウレタン樹脂系接着剤

成分および含有量：

4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート	(CAS 101-68-8)	6.2 %
ウレタンプレポリマー	(CAS -)	30 - 40 %
無機質充てん剤	(CAS -)	50 - 60 %
シカ	(CAS 7631-86-9)	1 - 5 %

4. 応急処置

眼に入った場合：

- ・ 清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・ 付着物を拭き取り、水と石けんでよく洗う。
- ・ かゆみや炎症が出た場合は、医師の診察、手当を受ける。

吸入した場合：

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診察、手当を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・ 無理に吐かせない。被災者の意識のある場合は、水で口の中を洗浄し、水または牛乳を 200 - 300mL 飲ませる。被災者の意識がない場合は、口から何も与えず、直ちに医師に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤：二酸化炭素、泡、粉末。

使ってはならない消火剤：水。

特有の危険有害性：火災によって刺激性、毒性、腐食性のあるガスが発生する可能性がある。

特有の消火方法：

- ・ 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
- ・ 保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具および緊急時措置：

- ・ 保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等を着用して作業する。

環境に対する注意事項：

- ・ 漏出した場所の周辺にロープ等を張り、人の立ち入りを禁止する。
- ・ 付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。
- ・ 多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。

回収・中和：

- ・ 少量の場合は、紙や布でふき取り「14. 廃棄上の注意」に従って廃棄する。
- ・ 多量の場合は、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。
- ・ 空気中の水と反応して、二酸化炭素を発生するため、回収容器は密閉しない。
- ・ 流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

- ・ 皮膚に触れないよう、保護手袋等の保護具を着用する。
- ・ 取扱いは換気の良い場所で行う。保護眼鏡、保護マスクを使用する。
- ・ 取り扱い中は火気に注意する。

保管：

- ・ 直射日光を避け、容器を密閉し、冷暗所に保管する。
- ・ 容器は破損、腐食、割れなどのないものを使用する。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート 日本産業衛生学会 0.05mg/m³ ACGIH-TWA 0.005ppm

設備対策：

- ・ 局所排気装置等の排気のための装置を設置する。

保護具：

- ・ 呼吸器の保護具：有機ガス用防毒マスク。

- ・ 手の保護具：ゴム、ポリエチレンなど、非浸透性の手袋。
- ・ 眼の保護具：保護眼鏡。
- ・ 皮膚および身体の保護具：長袖作業衣等。

9. 物理的および化学的性質

外観：白色ペーパ状。

臭い：なし。

融点：データなし。

沸点：180 - 225°C

比重：約 1.6 (23°C)

引火点：250°C以上

発火点：データなし。

溶解性：水に不溶。

10. 安定性および反応性

安定性：通常の状態では安定。

危険有害反応可能性：湿気および熱により反応、増粘、硬化する。反応では発熱を伴う。

避けるべき条件：水分、湿気、高温、火気。

混触危険物質：水。

危険有害な分解生成物：スス、一酸化炭素等。

11. 有害性情報

<4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート>

- ・ 急性毒性 - 経口：5,000 mg/kg 以上
- ・ 急性毒性 - 経皮：5,000 mg/kg 以上
- ・ 急性毒性 - 吸入：1.51 mg/kg (区分 4)
- ・ 皮膚腐食性/刺激性：ウサギで軽度刺激性 (区分 2)
- ・ 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：ウサギで中度の刺激性 (100mg) (区分 2A)
- ・ 呼吸器感作性：モルモットで感作を引き起こす (区分 1)
- ・ 皮膚感作性：マウス SD50 0.73 mg/kg (区分 1)

<可塑剤成分>

- ・ 生殖毒性：マウスの発生毒性試験で一般毒性がみられない用量で胎児に体重減少、水頭症 (区分 1B)

12. 環境影響情報

<可塑剤成分>

- ・ 水生環境有害性 (急性)：ファットヘッドミノウ EC50 18-25mg/L 96hr (区分 3)
- ・ 水生環境有害性 (長期間)：28 日後生分解性 87% (区分 3)

13. 廃棄上の注意

廃掃法の分類では廃油と廃プラスチック類の混合物で、焼却する場合は、焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類 / 国連番号：該当しない。

「7. 取り扱いおよび保管上の注意」の項の記載に従う。

容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を行う。

15. 適用法令

毒物劇物取締法：該当しない。

労働安全衛生法：4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート、シリカ（施行令別表第九 表示/通知対象物質）

化学物質管理促進法：4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート（第一種指定化学物質）

消防法：指定可燃物（可燃性液体類：指定数量 2 m³）

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準（日本接着剤工業会）：JAIA 01186 F☆☆☆☆

4VOC 放散速度基準（日本接着剤工業会）：JAIA 405087 4VOC 基準適合

参考資料：

- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
- ・ 化学工業日報社 15307 の化学商品

本書の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。